

個人質問

議会事務局 処理欄	令和4年5月13日 8時30分 受付
	質問順位 第7番

武豊町議会議長 石原 壽朗 殿

武豊町議会議員 森田 義弘

一般質問の通告について

令和4年第2回武豊町議会定例会において、次のように質問したいから通告します。

質問事項	質問の要旨(具体的にご記入願います)
1. 消防団員の現状と今後について	<p>【趣旨説明】</p> <p>消防団は、市町村の非常備の消防組織であり、その構成員である消防団員は、他の本業を持ちながら、権限と責任を有する非常勤特別職の地方公務員であります。</p> <p>消防団員は、「自らの地域は自らで守る」という精神に基づき消防防災活動を行っており、地域の安全確保のために果たす役割は非常に大きいものと言えます。</p> <p>しかしながら、全国的に消防団員の数は減少の一途を辿っており、平成元年に約100万人だった団員数は令和元年には約83万人になり、今後数年間で80万人を割り込むと予想されています。</p> <p>その背景として、近年の少子化の影響で若い世代を中心に適齢期の年代の人口が減少していることや、地域社会への帰属意識の希薄化などが挙げられています。</p> <p>また、団員の年齢構成にも変化が見られ、30歳未満の割合が減少する一方、40代以上の割合が増加するなど高齢化が進んでいるとのこと。</p> <p>さらに、職業構成についても、自営業者の割合が減少する一方、被雇用者、すなわちサラリーマンの割合が増加し、全体の7割以上を占めているようです。</p> <p>このような状況の中、団員数の減少と団員構成の変化が消防団運営に影響を及ぼしており、適正な規模の活力ある消防団の確保が全国的な課題だとされています。</p> <p>こうした消防団員の減少に歯止めをかけるべく、令和3年4月に消防庁長官から、消防団員の処遇改善の方針及び基準が示されました。</p> <p>これによって全国的に災害時の出動手当等の見直しが進み、本町においてもこの4月から、新たな報酬体系での活動がスタートしております。</p> <p>以上を踏まえ、今後の消防団に関する本町の考え方について質問をさせていただきます。</p> <p>【質問事項】</p> <p>① 本町の消防団員数の現状はどうなっているのか。</p> <p>② 新型コロナウイルス感染症拡大により消防団活動にどの程度影響があったか。</p> <p>③ 新たに女性消防団員が入団したとのことだが、入団に至った経緯と活動内容は。</p> <p>④ 全国的に消防団員の数が減少傾向にあるなか、本町では消防団員の確保のため、現状どのような取り組みを行っているのか。また、今後の展開についての考えは。</p>